

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター	
薬剤部科URL	https://kagomc.hosp.go.jp/about/section/pharmacy/	
キャッチコピー	鹿児島の地で、がん治療、循環器疾患、脳血管疾患を学べるトップクラスの病院です	
学生へメッセージ	当院は、整形外科、乳腺外科、呼吸器内科をのぞいた準総合病院であり、がん、循環器疾患、脳血管疾患を治療の柱としています。内科・外科領域の薬物治療を総合的に学び、成長できる施設です。また、医療薬学会がん専門薬剤師、薬物療法専門薬剤師、医療薬学専門薬剤師、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師の研修施設で、これら専門薬剤師を育成しています。ロケーションとしては、九州新幹線の鹿児島中央駅からもほど近く、鹿児島空港へのアクセスも良好で、国内大都市、国際HUB空港への羽田・成田へも行きやすく、仕事、プライベートへと交通の便が良いことも当院の特徴です。	
プロフィール	薬剤部の運営は、25名の職員（薬剤助手8名、薬剤師9名、主任6名、副薬剤部長1名、薬剤部長1名）で行っています。 担う業務は、中央業務である医薬品の管理・供給、調剤、製剤、無菌調製、DIに加えて、患者個別にサービスとなる、投与設計、個別DI、入院・外来患者への服薬指導、手術等のための入院前支援、病棟薬剤業務（服薬計画、処方・検査支援、総合的処方監査、配合の可否、副作用管理、医薬品副作用被害救済制度申請の支援等）、臨床研究・治験のサポートなど医療の本質である対人業務を行っています。これら業務の内、対物的業務である医薬品ピッキング、一包化パックからの抜薬、持参薬鑑別の下準備、注文、払い出し等のほぼ全てを薬剤助手が担い、薬剤師が患者ケアに注力できる環境を整備しています。 加えて、NST、ICT、AST、緩和、RST、褥瘡等の医療チームでの活動、患者向けの各種教室、医療安活動の他、院内各種委員会で活動しています。 保険薬局等の医療施設と協働・連携した医療を提供するために、当院で外来化学療法を受ける患者さんに対し、薬剤師から「薬剤管理情報提供書」を交付しています。 入院治療を受けた患者さんには、「薬剤管理サマリー」を患者さん同意のもと文書により交付しております。これにより入院治療に引き続いて外来薬物療法においても、病院の医師と保険薬局等薬剤師が単に分担するのではなく、協働して連携することを進めています。	
連絡先	099-223-1151（代表）	
アクセス	九州新幹線鹿児島中央駅から、路面電車等で25分、JR鹿児島駅から徒歩13分(1km)、鹿児島空港からバスで40分、鹿児島市の中央の一つである城山町に位置しています。	
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内分泌内科、血液内科、皮膚腫瘍科・皮膚科、小児科、精神科、外科、心臓血管外科、消化器外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科・口腔外科、脳血管内科	
病床数	410床	
病院の特徴	がん治療、循環器疾患の治療、脳血管疾患の治療を主たる柱とした準総合病院	
アピールポイント	薬剤師18名、助手8名と中規模の組織であり、「教え・学び」を分かち合える職場です。	
研修施設	◆日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業認定研修施設（暫定） ◆日本医療薬学会がん専門薬剤師制度研修施設（基幹施設） ◆薬学生長期実務実習受け入れ施設	
薬剤師数	定数18名（治験管理室配置1名を含む）欠員 1 名	
薬剤師構成	（男女比）男性 9 ： 女性 8	年齢構成 20代6名 30代6名 40代4名 50代1名
認定資格・数	がん専門薬剤師2名、がん指導薬剤師1名、緩和薬物療法認定薬剤師1名、NST専門療養指導士4名、抗菌化学療法認定薬剤師1名、スポーツファーマシスト1名	
臨床研究実績	＜論文＞国際誌1報、国内誌4報、＜学会＞国内学会21報	
チーム医療活動	NST、ICT、AST、緩和、RST、褥瘡、医薬品安全ラウンド、各種患者教室	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	